

モニター様 No. 2

1 評価環境 (PC オーディオ)

<ハードウェア&ソフトウェア構成>

- * PC . . . OS (WIN7 64 ビット) 、 CPU (Core i3) 、 ストレージ (SSD 480GB)
再生ソフトウェア (KORG 製 AUDIO GATE 3 フルバージョン)
- * USB DAC . . . KORG 製 DS-DAC-10
(Audio Technica 製 AT-EUS1000/0.7 USB2.0 ケーブル使用)
(Audio Technica 製 AT3C15 6.3mm→3.5mm 金メッキ変換プラグ使用)

2 評価音源

- * J-POPS FLAC (CD リッピング 16bit 44.1kHz PCM 通常再生)
 - ・ ZARD (曲目: この愛に泳ぎ疲れても)
 - ・ 愛内里菜、三枝夕夏 (曲目: 七つの海を渡る風のように)
 - * US-POPS FLAC (24bit 176.4kHz PCM 通常再生)
 - ・ マイケル ジャクソン (曲目: スリラー)
 - * クラシック A FLAC (CD リッピング 16bit 44.1kHz PCM 通常再生)
 - ・ シューベルト (曲目: 交響曲第 8 番-未完成- 第一楽章)
 - * クラシック B DSF (1bit 2.8MHz DSD ネイティブ通常再生)
 - ・ マーラー (曲目: 交響曲第 5 番 第一楽章)
 - ・ ドボルザーク (曲目: 交響曲第 9 番-新世界より- 第一楽章)
- (注)本レポートでの通常再生とはアップサンプリングなしの再生を意味する。

3 評価イヤホン

- ① Blue Ever Blue 製 Mercury Model 878 (使用イヤピース: 付属 開口部狭 L)
- ② Blue Ever Blue 製 Model 868B (使用イヤピース: 付属 開口部狭 L)
- ③ Audio Technica 製 ATH-IM70 (使用イヤピース: 付属 L)

以下①~③の番号にて表示。

4 ①のエイジング前の評価結果 (あくまでも評価者の個人的見解)

表中の評価結果の表現は①の価格帯を意識して

(◎:非常に優れている、○:優れている、△:普通、▲:やや劣る、×:大変劣っている) というより、

(◎:非常に満足、○:満足、△:可もなし不可もなし、▲:やや不満、×:大変不満) の意味合いが強い。

4.1 ①単体評価 (ファースト・インプレッション)

	高域	中域	低域	音場	解像度	総合
J-POPS	△	△	○	○	○	○
US-POPS	△	△	○	○	○	○
クラシック A	△	△	○	○	○	○
クラシック B	△	△	○	○	○	○

* エイジング前でも② (エイジング済み) と遜色ないかそれ以上で、エイジング後の期待が膨らむ再生クオリティー。また、購入時の希望小売価格が同価格帯の Audio Technica 製 ATH-CK577S とは、見

た目と低域を除けば圧勝の感あり。

*POPS：女性ボーカル、男性ボーカルも良く響き、気持ちがよく、聞いていて楽しいため時間が短く感じる。

*クラシック：オーケストラの楽器の位置が明瞭に認識でき、臨場感（3D感）はキャッチフレーズ通り。

*CDグレード、ハイレゾともに良くも悪くも音源を忠実に自然に再生、これもキャッチフレーズ通り。

4.2 ①～③比較評価

	高域	中域	低域	音場	解像度	総合
J-POPS	③>②≥①	③>②≥①	③>①>②	③≥①>②	③≥①>②	③>①≥②
US-POPS	③>②≥①	③>②≥①	③>①>②	③≥①>②	③≥①>②	③>①≥②
クラシックA	③>②≥①	③>②≥①	③>①>②	③≥①>②	③≥①>②	③>①≥②
クラシックB	③>②≥①	③>②≥①	③>①>②	③≥①>②	③≥①>②	③>①≥②

*音質的にはジャンルや音源での比較評価の違いはあまり感じられない。

*総合的には②に部分的に勝ってはいるが③には今一歩及ばないとの印象。

5 ①のエージング（約50時間）後の評価結果（あくまでも評価者の個人的見解）

5.1 ①単体評価

	高域	中域	低域	音場	解像度	総合
J-POPS	○	○	◎	◎	◎	◎
US-POPS	○	○	◎	◎	◎	◎
クラシックA	○+	○+	○+	◎	◎	◎
クラシックB	○+	○+	○+	◎	◎	◎

*○+は○と◎の意間の意味。

*明らかに大幅に良化、エージング前の各ジャンルや音源別の好評価ポイントがさらに向上した、また本当に疲れずに聞き続けられる点もキャッチフレーズ通り。

5.2 ①～③比較評価

	高域	中域	低域	音場	解像度	総合
J-POPS	③≥①>②	③≥①>②	③≒①>②	③=①>②	③=①>②	③≥①>②
US-POPS	③≥①>②	③≥①>②	③≒①>②	③=①>②	③=①>②	③≥①>②
クラシックA	③≥①>②	③≥①>②	③≒①>②	③=①>②	③=①>②	③≥①>②
クラシックB	③≥①>②	③≥①>②	③≒①>②	③=①>②	③=①>②	③≥①>②

*ジャンル、音源を問わず②と逆転または差が開き、③とはほぼ同等、評価者によっては上位に位置づけるかもしれないレベルになったと思われる。

6 コストパフォーマンス

*エージング前でも非常に高いと感じたがエージング後は文句なしの高コストパフォーマンスと言える。

評価では③とほぼ同等としたが、③はその2倍の価格帯品以上のパフォーマンスと評価しているため

①の価格帯としては圧倒的な高コストパフォーマンスということになる。

7 今後の商品開発に対する要望事項

*低価格・高音質のコンセプトを失わず、更なるHDSSの進化

* オリジナル・イヤピースの別売（コンプライ等の別メーカーチップは推奨リストがあれば良く付属は不要・・・）

値段が高いしサイズが合わなければ役に立たないのでコスト削減の意味から）

* 収納セミ・ハードケース別売（個人的にポーチは携帯に不安が）

* メンテナンス性の向上（リーズナブルなリケーブル対応・・・ケーブルが高くては意味がない）

* できるだけ価格を維持して、耐久性や見た目のグレード感のさらなる向上（好みの問題であるが）

<本評価レポートについて>

(1) モニタ用本製品を 2014 年 6 月 27 日に受領し、即日評価を開始

(2) エージングは SONY 製 ウォークマン A865 直挿しで約 50 時間（累計）実施

(3) 評価環境に示した PC オーディオ以外に、SONY 製ウォークマン F886 と PHA-2 をデジタル接続し

PHA-2 に対象イヤホンを直挿しした時の印象も含む、なおこの場合 DSD は PCM 変換再生

-- 以上 --

<注意>

本レポートは、シースピリッツ合同会社の Blue Ever Blue Mercury Model 878 モニタープログラムに基づいて選定されたモニターの方が作成したものであり、その著作権はシースピリッツ合同会社に委属し、個人的な閲覧目的のために供するものです。転載等をご希望の際は、シースピリッツ合同会社までご相談下さい（info@hakojiro.com）。